

Members-Student

Toshio UEDA (上田 俊夫)



■ メール

ueda_t[at]jaist.ac.jp

■ 経歴

1997 年 大阪大学基礎工学部システム工学科卒業 .
2000 年 同大学基礎工学研究科システム人間系システム科学分野博士前期課程修了 .
2000 年 沖電気工業 (株) 研究開発本部研究員 . (~ 2005 年)
2005 年 (株) ジャストシステム研究員 (~ 現在)
2006 年 北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程 (社会人 Dr.) (~ 現在)
2007 年 慶應義塾大学特別研究学生 (~ 現在)

■ 研究テーマ

「概念化アスペクトに基づくオントロジー構築支援」

■ 研究の概要

よいオントロジーは知識の再利用性が考慮され、様々な知識を組織で共有利用するための基盤となりうると期待されています。例えばセマンティック Web では、リソースのインデックスとして使うことで、情報の整理や検索などに威力を発揮すると言われています。

一般に、そうしたオントロジーを構築するためにオーサには概念の本質を見極めた上で概念の峻別を行う能力 (オントロジーリテラシー) が求められます。しかしながらオントロジーリテラシーは誰でも持ち合わせているものではなく、一定の訓練を経ないと身につくものではありません。そのことがオントロジー専門家以外が参入する敷居を高めていると我々は考えています。

ではオントロジーの専門家は何を考えてオントロジーを作っているんだろう？彼らが暗黙的に行っていることを定式化して、専門家のオントロジー構築を再現できるようにしたい。そうすればオントロジー構築の敷居を下げられるのではないかと我々は考えました。

そこで我々は、専門家が対象をどのように捉えているのかを分析して概念化しておき、それを共有・利用することによってオントロジー構築を支援するというアプローチを取ることにしました。対象の捉え方を概念化したもの、それが概念化アスペクトです。

これから先は AI 学会全国大会が終わった後で・・・

■ 研究業績

解説

タイトル	著者	出展	公開年月
<u>オントロジーエディタ Protege を使った OWL オントロジー構築</u>	<u>上田 俊夫</u> , <u>池田 満</u>	人工知能学会誌 vol.21 no.4 pp.446-454	2006 年 7 月
<u>Jena- セマンティック Web アプリケーション 開発のための JAVA フレームワーク</u>	<u>上田 俊夫</u> , 和泉 憲明 , 森田 幸伯 , 橋田 浩一	人工知能学会誌 vol.19 no.3 , pp.325-333	2004 年 5 月

著作

タイトル	著者	出展	公開年月	備考
<u>CD-ROM で始める セマンティック Web</u>	Grigoris Antoniou , Frank van Harmelen、監修： 萩野達也、翻訳： ジャストシステム	ISBN:4883092739(ジャストシステム)	2005 年 5 月	付録 CD-ROM 担当
<u>セマンティック Web 入門</u>	斎藤 信男 , 萩野 達也 , 財団法人 情報 処理相互運用技術 協会 (編集)	オーム社 ; ISBN: 4274079791 ; p.138 -155	2004 年 11 月	第 3 章主筆

対外講演

報告内容	報告者	イベント	報告年月
SNS、Blog etc. 上の virtual メタデータ活用 部会の活動報告	<u>上田 俊夫</u> (沖電気工業)、 市川 恵貴 (日本 HP)	第 6 回 XML コンソーシ アム Day	2005 年 1 月
<u>RDF を利用したシステ ム開発の実際</u>	<u>上田俊夫</u> (沖電気工業)	KIT (Knowledge and Information Technology) 講演会 慶応義塾大学	(2004 年 6 月)

研究報告

報告内容	報告者	出展	報告年月
<u>RDF 開発のためのオー プンフレームワーク Sesame</u>	INTAP セマンティック Web 委員会	" 平成 16 年度セマン ティック Web 技術の調 査研究報告書 pp.121 -126 (INTAP セマン ティック Web 委員会)	2005 年

<u>文書中のキーワードに関する多種多様な情報を収集・整理するシステム～システムの概要と固有表現抽出技術、オントロジー技術～</u>	松平正樹・大沼宏行・ <u>上田俊夫</u> ・ <u>淵上正睦</u> ・森田幸伯	沖テクニカルレビュー No.200, Vol.71 No.3, pp.46-49	2004 年 10 月
<u>モバイルアクセッサ技術の研究開発～個人適応型ヒューマンインタフェースによるユーザビリティ・アクセシビリティの改善を目指して～</u>	竹内晃一・ <u>上田俊夫</u> ・徳満昌之・三樹弘之・福永 茂・高野陽子・中山 敬・末竹義郎	沖テクニカルレビュー No.199, Vol.71 No.3, pp.62-65	2004 年 7 月

国内発表

タイトル	著者	出展	公開年月
<u>概念化アスペクトに基づくオントロジー構築</u>	<u>上田俊夫</u> ・池田 満	第 21 回人工知能学会全国大会	2007 年 6 月
<u>概念化アスペクトに基づくオントロジー構築プロセスのための概念表現モデル</u>	<u>上田俊夫</u> ・池田 満	人工知能学会知識ベースシステム研究会	2007 年 1 月
<u>概念化アスペクト：オントロジー構築の手掛かり</u>	<u>上田俊夫</u> ・池田 満	第 14 回セマンティック Web とオントロジー研究会	2006 年 11 月
文書内の人名の個人特定に関する研究―「山田さん問題」の解決手法とその評価―	松平正樹・ <u>上田俊夫</u> ・大沼宏行・ <u>淵上正睦</u> ・森田幸伯	第 3 回情報科学技術フォーラム FIT2004, LD-005	2004 年
WWW を利用した企業情報比較支援システムの開発	大沼宏行・松平正樹・ <u>上田俊夫</u> ・ <u>淵上正睦</u> ・森田幸伯	第 3 回情報科学技術フォーラム FIT2004, F-010	2004 年
<u>文書からのキーワード抽出と関連情報の収集</u>	松平正樹, <u>上田俊夫</u> , <u>淵上正睦</u> , 大沼宏行, 森田幸伯	第 5 回セマンティックウェブとオントロジー研究会, SIG-SW & ONT-A303-02	2004 年 3 月
<u>Web コンテンツの分析に基づくオントロジー構築および情報整理の試み</u>	松平正樹, <u>上田俊夫</u> , 大沼宏行, 森田幸伯	第 4 回セマンティックウェブとオントロジー研究会, SIG-SW & ONT-A302-08	2003 年 11 月

<u>体系化された機能知識に基づく機能達成方式再構成システムの概念設計</u>	<u>上田俊夫</u> ，来村徳信，溝口理一郎	第 59 回情報処理学会全国大会，分冊 2，pp.71-72	1999 年
機能レベル推論のための機能オントロジーに関する考察	<u>上田俊夫</u> ，来村徳信，布瀬雅義，溝口理一郎	第 12 回人工知能学会全国大会（第 12 回），pp.44-47	1998 年
設計意図を考慮した生産工程再設計システムの検討	<u>上田俊夫</u> ，来村徳信，寺尾俊彦，布瀬雅義，溝口理一郎	第 11 回人工知能学会全国大会（第 11 回），pp.565-568	1997 年
<u>生産工程のモデル化と改善支援に関する検討</u>	<u>上田俊夫</u> ，笹島宗彦，来村徳信，寺尾俊彦，布瀬雅義，溝口理一郎	第 54 回情報処理学会全国大会講演論文集，分冊 2，pp.165-166	1997 年

学位論文

タイトル	著者	出展	公開年月
<u>体系的機能知識に基づく機能達成方式サーバの開発</u>	<u>上田俊夫</u>	大阪大学基礎工学研究科 修士学位論文	2000 年
生産工程のモデル化とその再設計支援に関する基礎的考察	<u>上田俊夫</u>	大阪大学基礎工学部 学士学位論文	1997 年